

西脇病院

地域に信頼される良質な医療を提供します
 (22:011) http://nshp.jp/



健康バンザイ

96

西脇病院の医師が健康や病気に関するさまざまな情報を提供します。

貧血と言われたら

血液内科部長 松井 利充

赤血球数が減り、ヘモグロビン（色素）が少なくなる病気が貧血です。慢性貧血は自覚症状が乏しいことが多く、階段などを登ると以前は見られなかった息切れや動悸を覚えたりする程度です。息切れや動悸は心臓や肺が悪い人にもみられますが、血液検査をすればすぐに区別が付きまします。最も多い鉄欠乏性貧血は鉄剤の補充で良くなります。鉄欠乏の原因として多いのが出血です。中年では消化器内科を受診し内視鏡検査を、女性では性器からの不正出血の確認のため婦人科受診が必要です。胃切除されていると鉄とともにビタミンB12も欠乏し、術後数年で貧血になります。関節リウマチや慢性感染症による貧血には鉄剤は効かず、原病の治療が大切です。これらの基礎疾患がなく鉄剤やビタミン剤も効かない場合、赤血球が壊れる溶血性貧血や血液をうまく造れない骨髄不全が疑われます。急いで血液内科を受診してください。骨髄不全による代表的な貧血が再生不良性貧血や骨髄異形成症候群（MDS）です。後者は薬が効かないため不応性貧血と呼ばれてきました。近年、新薬も登場してきましたが、白血病へ進行するタイプもあり、前白血病とも言われます。進行期のMDSに対して、最近では70歳位まで骨髄移植が行われます。MDSと診断されれば、治療計画のため移植認定医のセカンドオピニオンを必ず受けましょう。移植ができればQOLを改善する輸血療法が受けられます。頻回の輸血で鉄過剰をきたしますが、体内にたまった鉄を除去する新薬で輸血回数を減らすこともできます。MDSは高齢者に多くみられますが、高齢というだけで貧血になることはありません。

新しい先生を紹介します



泌尿器科医長 熊野 晶文

西脇病院の泌尿器科医療の発展に努め、少しでも地域の患者さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願ひします。

検査部から

生化学検査について

私たちの体は、生命を維持するために、さまざまな栄養分を取り込んでいます。これらの栄養分は、体内で分解したり、再合成されたりして体のいろいろな所で使われ、不要になると老廃物として排泄されます。これを代謝といひ、生化学検査は、代謝によって生まれるさまざまな成分を調

べる検査です。

血液や尿に含まれる脂質、酵素、たんぱく質などの成分は、臓器に障害があったりすると変動します。その変動を調べて健康状態の把握、病気の診断、治療効果の判定に役立っています。採血した血液はしばらくすると固まり、それを遠心分離機で固形成分（血球）と上清（血清）に分け、生化学検査では、血清を使い約30項目を自動分析装置で測定しています。

正確な検査結果を報告するため、毎日、専用試料を用いて装置や検査試薬の精度を監視しています。また、測定結果は、前回値や関連項目とのデータのチェックをして迅速に報告しています。

西脇病院「健康セミナー」

毎月1回、西脇病院医師に

よる「健康セミナー」を開催しています。

- ▼とき 12月16日(月) 午後3時～1時間程度
- ▼ところ 病院講堂(2階)
- ▼講師 外科医 河合 孝
- ▼演題 知っておきたい「腹痛」のポイント
- ▼参加費 無料
- ▼問合せ 病院総務課 (病院内線366)

糖尿病教室

「糖尿病の薬物療法」

これならわかる薬のほなし 糖尿病手帳と内服されているお薬をご持参ください。どなたでも参加できます。

- ▼とき 12月20日(金) 午後2時～3時
- ▼ところ 病院講堂(2階)
- ▼問合せ 内科 (病院内線535)

外来診療担当医師変更のお知らせ

診療科	月	火	水	木	金	
内科	総合内科(初診)	木村 祥子	稲垣 忠洋	平田 珠希	小中 嘉亮	武地 美保
	再診1	稲垣 忠洋		福永 秀行	武地 美保	来住 (糖尿)
	再診2	小出 亮	岩井 正秀	木村 祥子	岩井 正秀	平田 珠希
	再診3	日下 聡	中川 嘉宏	鈴木 琢真	柏木 貴雄	樋口 泰雄
専門外来	船田 泰弘	木戸 良明	来住 穂		中井健太郎	
泌尿器科	熊野 晶文	杉山 武毅	小林 康浩	熊野 晶文	杉山 武毅	
産婦人科	阿江 孝	阿江 孝	野村 和久	阿江 孝	野村 和久	

エントランスギャラリー

○財MOA美術・文化財団 市内8小学校児童の絵画・書の作品を展示します。

- ▼とき 12月2日(月)～10日(火)
- ▼ところ 西脇病院エントランスホール

○西脇高等学校生活情報科 播州織オリジナル作品を展示します(小物やボディによる作品展示)。

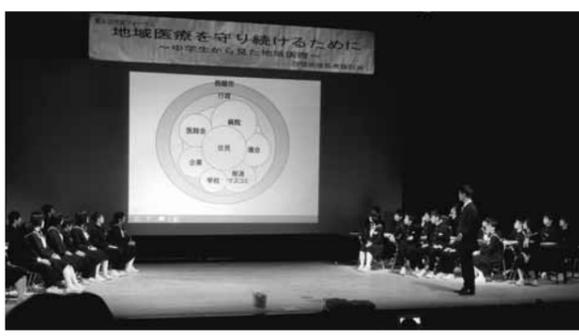
- ▼とき 12月11日(水)～27日(金)
- ▼ところ 西脇病院エントランスホール

▼問合せ 施設管理課 (病院内線363)

第5回市民フォーラムを開催

市民会館大ホールで11月4日、地域医療検討会が「地域医療を守り続けるために」中学生からみた地域医療」をテーマに「第5回市民フォーラム」を開催しました。西脇南中学校吹奏楽部の演奏に続いて行われたのが、西脇中学校3年4組の生徒による地域医療についての公開模範授業。「大人だけではなく、中学生や学校も地域医療への意識を高める必要がある」などの意見が出ました。

これまで学校で学んできたことを模範授業形式で分かりやすく紹介されたことで、約



250人の参加者は、地域医療への理解をより深めることができました。

西脇小児医療を守る会コラム 64



親子で学ぶ勉強会

10月29日「社こどものいえ」で県民局主催の『まちの子育てひろば交流会』が開催され、県民局作成の【こどもの救急かるた】を使った勉強会を行いました。スクリーンに映し出される絵札と同じカルタを子どもたちが取った後、読み札の裏に記載されている医療情報をママと一緒に学ぶというもので、親子で一緒に楽しく学べる時間になりました。

11月4日、西脇市民会館で第5回市民フォーラム『地域医療を守り続けるために～中学生から見た地域医療～』が行われ、西脇中学校3年生による公民の模範授業が舞台上で演じられ、中学生の目線で西脇の地域医療について考え発表されていました。中学生の力強さと頼もしさを感じ、未来ある子どもたちのためにも今、私たちにできる事をやり続けて行きたいと思いました。

◆問合せ 西脇小児医療を守る会
 ☎090-8538-1337 石井
<http://www.kodomonomirai.com>
info@kodomonomirai.com

西脇多可休日急患センター

◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室
 ◆診察日 日曜日(年末年始を除く) 午前9時～午後5時
 ◆問合せ ☎23-5380

※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。必ず健康保険証を持参ください。

12月の出務予定医師	
12月1日(日)	畑澤 幸雄 先生
12月8日(日)	上田 正生 先生
12月15日(日)	和田 良勝 先生
12月22日(日)	大隅 昭幸 先生

平成26年4月1日採用 じばくくら荘職員募集 (正規看護師)

- ▼採用人員 若干名
- ▼勤務場所 市立老人保健施設「じばくくら荘」
- ▼受験資格 昭和44年4月2日以降に生まれた方で、看護師の免許を有する方
- ▼給与(初任給)
 - 大学卒 21万9,100円
 - 短大3卒 21万2,800円
 - 短大卒 20万6,900円
- ※経年数加算。期末勤勉手当、夜勤手当等諸手当有り
- ▼勤務時間 ①午前8時30分～午後5時15分 ②午後4時30分～翌日9時
- ※②の勤務は1月に6回程度
- ▼応募方法 所定の受験申込書を市総務課またはじばくくら荘へ持参(受験申込書は市総務課またはじばくくら荘で配布。市ホームページからダウンロード可)。
- ▼募集期間 12月2日(月)～平成26年1月10日(金)
- ▼試験予定日 平成26年1月23日(木)
- ▼試験内容 小論文、面接、健康診断
- ▼問合せ 市総務課(市役所内線295)▽じばくくら荘(☎23-5958)